

基本計画策定に向けた検討項目について

1 規 模	
<p>将来の医療需要に合わせた適正な病床数・病棟などの整備が必要です。 人口動態や高齢化等を見据え、最適な規模を検討します。</p>	
現 状	<p>現在の市立病院建物の延べ床面積 15,200 m²(東棟 7,878 m²・西棟 7,322 m²) 病床数 215 床 (一般病床 209 床・感染症病床 6 床) 【病院局 246 床(市立病院 215 床・会田病院 31 床)】</p>
院内建設推進 委員会の意見	
2 医療機能	
<p>地域住民から求められる役割を十分果たせるよう、急性期医療をはじめとした医療提供体制のあり方について検討します。</p>	
現 状	<p>標榜診療科 : 産科、婦人科、内科、消化器内科、循環器内科、人工透析内科、糖尿病内科、内分泌内科、呼吸器内科、外科、消化器外科、肛門外科、乳腺外科、脳神経外科、形成外科、整形外科、ペインクリニック整形外科、小児科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、リハビリテーション科、放射線科、救急科(救急総合診療)、麻酔科、歯科口腔外科 【全27診療科】 病棟機能 : 急性期病棟 118 床(一般 58 床、小児・産婦人科 60 床)【7:1看護基準】、回復期リハビリ病棟 32 床【15:1看護基準】、地域包括ケア病棟 49 床【13:1看護基準】 人間ドック 4 床 (施設基準届出病床数) 併設施設 : 松本市立病院訪問看護ステーション、松本市立病院在宅介護支援事業所、託児所</p>
院内建設推進 委員会の意見	
3 地域における役割	
<p>公立病院として、地域連携・在宅医療・災害医療・感染症対策等の役割を積極的に担う体制の整備を検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学病院等の高度急性期医療機関との連携や、近隣のクリニックや福祉施設との連携を強化 ・高齢者の増加に伴う、在宅医療の需要増加を考慮した、在宅診療部門の充実 ・災害医療として、大規模災害時でも BCP(事業継続計画)に基づいた医療機能提供可能な施設 	
現 状	<p>信州大学附属病院との連携協定、在宅療養後方支援病院、災害時黄タグ対応病院 二類感染症病院指定(6 床) 26 年度回復期リハビリテーション病棟開設、28 年度地域包括ケア病棟開設 27 年度訪問看護訪問件数 4,398 件、27 年度在宅介護支援契約者延数 346 人 27 年度救急搬送車数 977 台、27 年度時間外患者数 6,472 人</p>
院内建設推進 委員会の意見	

4 健康事業の充実

地域住民の健康維持という観点から、今後、予防医療領域に積極的に関与する必要があります。新病院では、健診センターの設置等、健診機能の強化を図り、本市が掲げる「健康寿命延伸都市・松本」の創造の一端を担い、産学官連携による事業展開も検討します。

現 状	27 年度健康管理科取扱い件数 5,311 件 内訳 ・人間ドック 1,245 件 ・けんぽ・企業健診 2,096 件 ・社保特定検診 131 件 ・市町村委託検診 1,232 件 ・その他 607 件
院内建設推進 委員会の意見	

5 研修教育・情報提供体制の構築

地域の病院として、医学生や研修医への研修教育及び市民への医療に関する情報提供を積極的に行う必要があります。大学や短期大学などの学生や研修医を積極的に受け入れる研修機関を目指します。また、地域住民の健康維持を目的とした市民公開講座等の開催を検討します。

現 状	27 年度医学生実習生 50 名のほか看護、医療技術系実習生多数受入れ 28 年度研修医 6 名 病院広報紙「ふれあい交差点」の発行、病院祭の開催 地域の講座、教室等に医師、看護師等を講師として派遣
院内建設推進 委員会の意見	

6 財政計画、人員計画等その他必要事項の検討

財源や経営シミュレーションなどの財政計画、機能に応じた人員配置計画など多面的に検討します。

現 状	病院建設を想定した財政計画、人員配置計画について検討中
院内建設推進 委員会の意見	